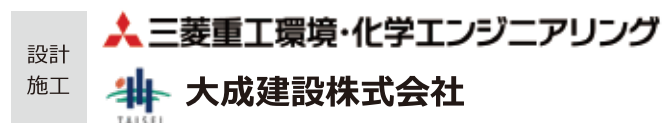


施設案内図



川崎市橋処理センター

〒213-0014 神奈川県川崎市高津区新作1丁目20番1号
Tel. 044-865-0013



ごみ分別アプリ

iPhone·iOS端



※対応OS:iOS8.0以降、Android4.0以降

Android端



スマートフォンやタブレット端末などから以下の方法で無料でダウンロードできます。

- ①左記または市のホームページ上に掲載している「2次元コード」を読み取る。
②「App Store」または「Google Play」からダウンロード。

川崎市ごみ分別アプリ

検索



川崎市橘処理センター



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市



橋処理センターは、昭和49(1974)年からごみ焼却処理施設として、昭和63(1988)年から粗大ごみ処理施設を備え、普通ごみ・粗大ごみを処理してきました。新しい施設はごみ焼却処理施設とミックスペーパー資源化処理施設を備え、令和6(2024)年4月に稼働を開始しました。

現施設は新たな排ガス処理施設を導入し、全国でもトップクラスの排ガスの自主基準値を定めています。また、ごみ焼却時に発生する熱を利用してボイラーで蒸気を発生させ、高効率の蒸気タービン発電機により最大約14,100キロワットの発電を行い、施設稼働に必要な電気として使うほか、電力会社を通じて、学校をはじめとした公共施設に使われています。発生する蒸気の一部を隣の川崎市民プラザに供給し、冷暖房や温水プール等の熱源として利用するなど、ごみの焼却によるサーマルリサイクル(熱エネルギー回収・利用)と環境負荷の低減に努めています。

- a,b 周辺小学校児童を含め住民投票で色彩を決定。白とグレーを基調とした外観
- c 敷地の高低差を利用した造成地盤により川崎市民プラザとの連続した広域空間を確保
- d 昔からこの地域にあった樹種(地域に由来する在来種)を選定
- e 造成地盤上にも植栽を配し、川崎市民プラザや周辺の緑とつながる屋外空間を創出
- f 緑とともに様々な生物が生息できるよう、雨水を利用したバードバスなど生物多様性に配慮
- g 隣接する市民プラザへ蒸気を送り、冷暖房や温水プール熱源として利用。上部は歩行可能
- h 災害時にはマンホールをトイレとして活用予定
- i 広域避難場所であることを考慮し、設置されたかまどベンチ

施設配置図



施設概要

施設名称：川崎市橋処理センター
 川崎市橋処理センター発電所
 所在地：神奈川県川崎市高津区新作1丁目20番1号
 敷地面積：24,488.63㎡
 建築面積：13,902.71㎡
 延床面積：31,918.44㎡
 煙突高さ：100m
 建設工事費：344億2,426万円
 着工：平成29年(2017年)12月19日
 竣工：令和6年(2024年)3月29日

資源化処理施設

処理対象物：ミックスペーパー
 処理能力：45t/日(22.5t/日×2ライン)
 処理方式：手選別、圧縮梱包方式

ごみ焼却処理施設

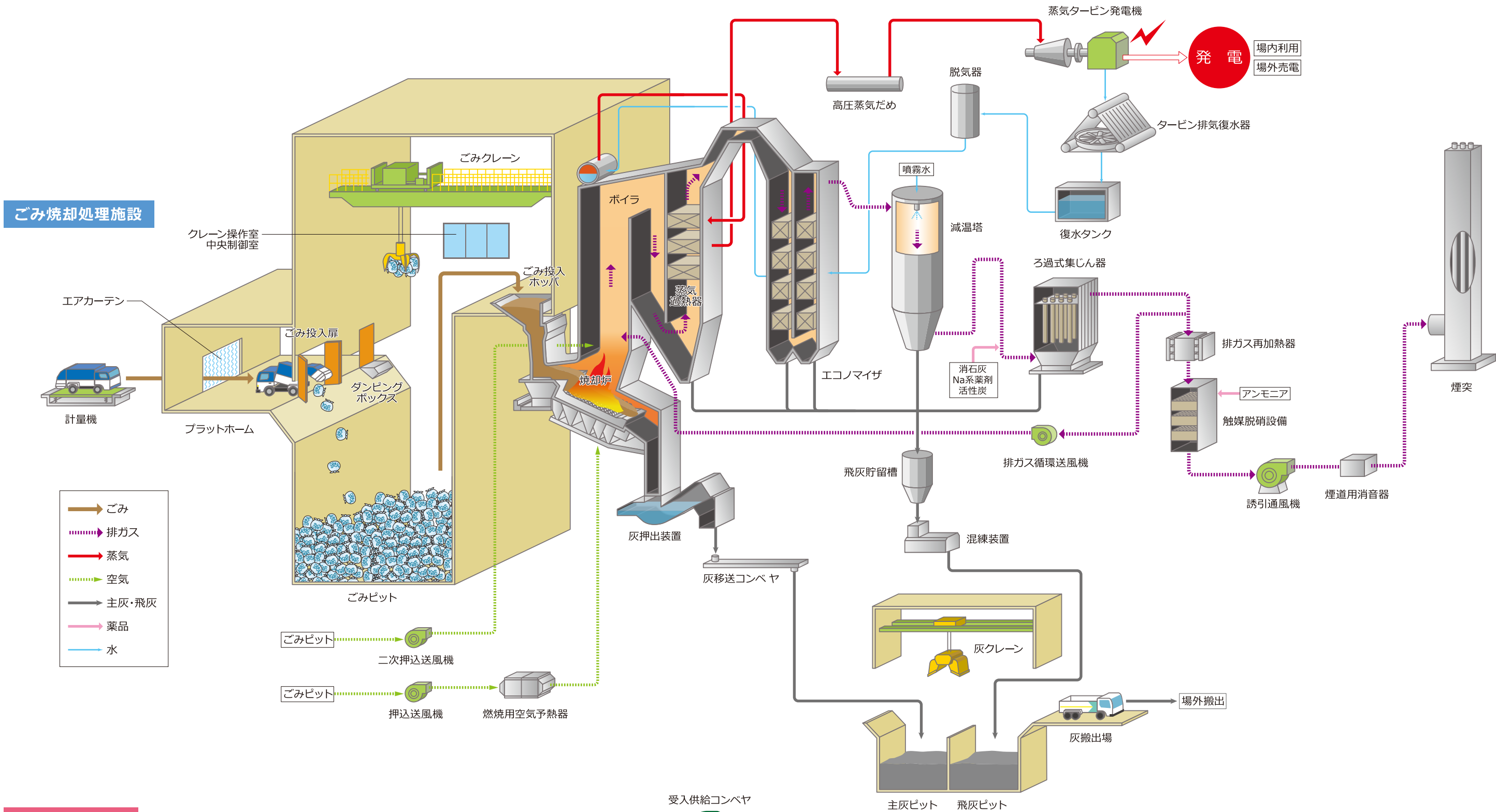
処理対象物：普通ごみ
 処理能力：600t/日(200t/日×3炉)
 処理方式：焼却方式(ストーカ式)
 余熱利用：蒸気タービン発電機(定格出力14,100kW)

排ガス基準値

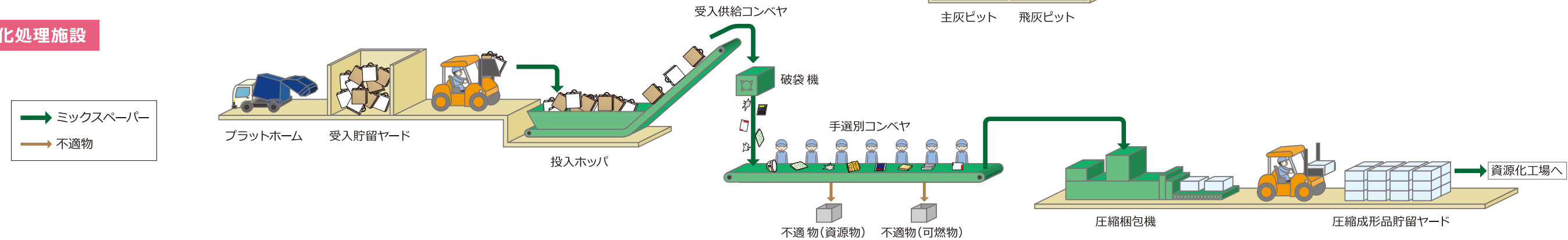
項目	管理基準値
ばいじん	0.008 g/m ³ N
硫黄酸化物(SO _x)	8 ppm
塩化水素(HCL)	8 ppm
窒素酸化物(NO _x)	24 ppm
一酸化炭素(CO)	30 ppm
ダイオキシン類(DXNs)	0.008 ng-TEQ/m ³ N

処理フロー

ごみ焼却処理施設



資源化処理施設



主要設備

ごみ焼却処理施設



ごみ計量所
施設へ運ばれてきたごみは、最初に計量機でごみ収集車ごと重さを量ります。



プラットフォーム
プラットフォームにはごみ投入扉が8門あり、このごみ投入扉から運ばれてきたごみをごみピットへ投入します。



ごみピット・ごみクレーン

ごみピットに貯留されたごみは、ごみクレーンによって十分に混合・攪拌され、ごみ投入ホッパに投入されます。



焼却炉

ストーカと呼ばれる階段状の床がごみを動かしながら燃やします。ダイオキシン類の発生を抑えるため850℃以上の高温で燃やします。



ボイラ

内部には水の流れる水管が多数張り巡らされていて、水管の間に高温の排ガスが通過することで排ガスから熱エネルギーを回収し、蒸気を生成します。



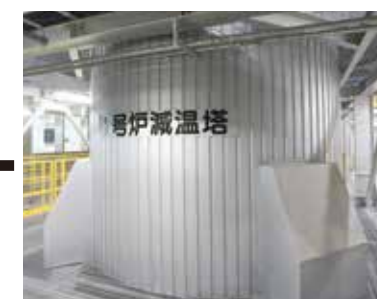
蒸気タービン発電機

ボイラで発生する蒸気力でタービンを高速回転させ発電します。発電した電気は施設内で利用し、余剰電力は電力会社へ売電します。



タービン排気復水器

蒸気タービン発電機で仕事を終えた蒸気は、タービン排気復水器で冷却され水に戻ります。



減温塔

ボイラを通過した排ガスはとても高温であるため、減温塔で一旦水を吹きかけて温度を下げます。



ろ過式集じん器

排ガスに消石灰、ナトリウム系薬剤、活性炭を吹き込み、ろ布と呼ばれる筒状のフィルタに排ガスを通過させ有害物質を除去します。



触媒脱硝設備

排ガス中に微量に残っているダイオキシン類や窒素酸化物を触媒の働きにより分解し、除去します。



主灰ピット・飛灰ピット

焼却炉で完全燃焼したあとの焼却灰(主灰)と、排ガス中から集められ処理された灰(飛灰)をピットへ貯留して、灰クレーンでダンプに積み込み搬出します。



中央制御室

場内各所に設置されたカメラの映像や各機器のデータが集約され、24時間体制で施設の運営状況を監視しています。

資源化処理施設



プラットフォーム

搬入されたミックスペーパーを荷降ろしして一時貯留します。



受入供給コンベヤ

投入ホッパから破袋機までミックスペーパーを運搬します。



破袋機

収集袋などを回転する刃と固定された刃で破り、内容物を出します。



手選別コンベヤ

流れてくるミックスペーパーの中から不適物を手作業で取り除きます。



圧縮梱包機

ミックスペーパーを圧縮し、鉄線により梱包します。



成成品貯留ヤード

圧縮成成品は一時貯留され、その後資源化工場へ運び出されます。